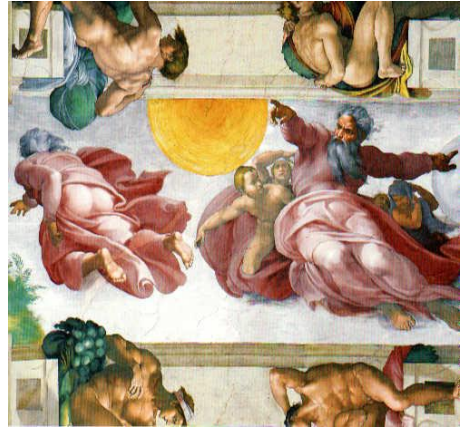


言葉

知っておきたいキリスト教のことば (74)

「御言葉はあなたの近くにあり、あなたの口、あなたの心にある」(ローマの信徒への手紙 10 章 8 節 b)。

聖書の中で、「言葉(ロゴス)」はとても重要な意味を持ちます。創世記には、天地創造の第 1 日目に神さまが光をつくられた場面が描かれます。そのときの様子が、このように書かれています。



神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。(創世記 1 章 3 節)

神さまはご自分の言葉を発することによって、この世界の創造を開始されたのです。創世記の 1 章をみると、神さまはその後も幾度となく言葉を発し、その世界を形作っていかれたことがわかります。

そして新約聖書のヨハネによる福音書 1 章には、「初めに言(ことば)があった」から始まる「ロゴス賛歌」が書かれています。

このヨハネ福音書に書かれている「言(ことば)」とは、イエス・キリストのことです。イエス様は神さまの思いを人々に伝えるために遣わされました。そして十字架の死と復活を通して、その人の中に「言(ことば)」として存在し続けるのです。

さて、聖公会の礼拝の中で福音書が朗読されるときには、「一同福音書の方を向く」と祈禱書に書かれています。手元にある聖書を、一生懸命目で追わなくても大丈夫です。「み言葉を聞く」ということが、ここでは大切にされています。

そしてみ言葉であるイエス様が、わたしたち一人一人の内に来てくださいることを感じながら、福音を心に留めていきましょう。そのことをいつも覚え、これからもみ言葉に耳を傾けていければと思います。

「み言葉は人となり、わたしたちの間に住まわれた」(聖歌 441 番)。

次回は「ゴルゴダ」です。お楽しみに。